



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年11月13日

上場会社名 株式会社 ソノコム

上場取引所 東

コード番号 7902 URL <http://www.sonocom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 清啓

問合せ先責任者 (役職名) 業務部長 (氏名) 宮寺 利宗

TEL 03-3716-4101

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	1,166	20.4	238	35.0	290	54.2	221	38.1
29年3月期第2四半期	968	△1.0	176	18.3	188	10.3	160	2.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	60.54	—
29年3月期第2四半期	41.80	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	8,752	7,608	86.9	2,075.95
29年3月期	8,227	7,414	90.1	2,023.09

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 7,608百万円 29年3月期 7,414百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,100	12.4	360	41.6	430	17.1	320	△2.2	87.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	5,000,000 株	29年3月期	5,000,000 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	1,335,036 株	29年3月期	1,335,036 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	3,664,964 株	29年3月期2Q	3,843,535 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績の回復や雇用環境の改善が進み、緩やかな回復基調で推移しました。一方世界経済は、欧米での景気回復が持続するものの、米国の政策動向への懸念やアジアにおける地政学リスクによる不透明感等、先行きの不安定な状況が続きました。

当社が属するスクリーン印刷用製版業界におきましては、主要顧客である電子部品業界において、スマートフォンや自動車関連の各種電子部品の需要の高まりにより堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社におきましては、営業・製造・技術が一体となり、高精度製品の安定生産、生産効率の向上に取り組んでまいりました。その結果、売上高につきましては、製品売上高10億91百万円（前年同期比20.6%増）、商品売上高75百万円（前年同期比18.7%増）となり、売上高合計11億66百万円（前年同期比20.4%増）となりました。

利益面におきましては、売上高増加の影響により、営業利益2億38百万円（前年同期比35.0%増）、経常利益2億90百万円（前年同期比54.2%増）、四半期純利益2億21百万円（前年同期比38.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①スクリーンマスク

当セグメントにおきましては、表示素子用の一部の製品の売上が増加した結果、売上高9億円（前年同期比25.7%増）、セグメント利益3億27百万円（前年同期比35.2%増）となりました。

#### ②フォトマスク

当セグメントにおきましては、ほぼ前年並みの売上となり、売上高1億91百万円（前年同期比1.0%増）、セグメント利益91百万円（前年同期比4.5%減）となりました。

#### ③その他

当セグメントにおきましては、印刷機や検査装置等の売が発生した結果、売上高75百万円（前年同期比18.7%増）、セグメント利益13百万円（前年同期比16.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して、5億24百万円増加して87億52百万円となりました。負債は、3億31百万円増加して11億44百万円となりました。純資産は、1億93百万円増加して76億8百万円となり、その結果自己資本比率は、86.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて92百万円減少し、33億88百万円（前年同期 33億22百万円）となりました。

また、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、営業活動の結果得られた資金は、前年同期比2.1%減の1億68百万円となりました。これは主に、売上債権の増加額2億64百万円があったものの、税引前四半期純利益2億98百万円や、仕入債務の増加額1億52百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、投資活動の結果使用した資金は、2億37百万円（前年同期 10億60百万円の収入）となりました。これは主に、投資有価証券の償還による収入1億10百万円があったものの、投資有価証券の取得による支出1億90百万円や、定期預金の預入による支出1億12百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、財務活動の結果使用した資金は、前年同期比85.0%減の25百万円となりました。これは、配当金の支払額25百万円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました平成30年3月期の業績予想を修正することといたしました。詳細につきましては、本日別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,383,091	3,368,310
受取手形及び売掛金	525,105	790,036
有価証券	97,683	133,247
商品及び製品	3,126	3,130
仕掛品	48,451	49,470
原材料及び貯蔵品	67,190	79,127
その他	63,229	64,162
流動資産合計	4,187,878	4,487,484
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	632,036	616,746
機械及び装置（純額）	92,786	102,635
土地	1,390,510	1,390,510
その他（純額）	33,791	41,824
建設仮勘定	24,950	24,950
有形固定資産合計	2,174,074	2,176,666
無形固定資産	3,926	17,243
投資その他の資産		
投資有価証券	1,583,754	1,675,842
その他	277,997	395,297
投資その他の資産合計	1,861,751	2,071,140
固定資産合計	4,039,753	4,265,049
資産合計	8,227,631	8,752,534
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	162,644	315,278
未払法人税等	55,398	70,888
引当金	47,177	53,124
その他	140,394	291,778
流動負債合計	405,614	731,069
固定負債		
退職給付引当金	11,796	13,396
役員退職慰労引当金	371,720	376,832
繰延税金負債	23,931	22,967
固定負債合計	407,447	413,197
負債合計	813,062	1,144,266
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	925,750	925,750
資本剰余金	1,405,550	1,405,550
利益剰余金	5,846,444	6,042,659
自己株式	△825,151	△825,151
株主資本合計	7,352,592	7,548,808
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	61,976	59,459
評価・換算差額等合計	61,976	59,459
純資産合計	7,414,569	7,608,267
負債純資産合計	8,227,631	8,752,534

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	968,948	1,166,944
売上原価	588,111	694,573
売上総利益	380,837	472,370
販売費及び一般管理費	203,880	233,429
営業利益	176,956	238,941
営業外収益		
受取利息	13,142	15,136
投資有価証券償還益	6,243	31,972
その他	4,922	4,408
営業外収益合計	24,308	51,517
営業外費用		
為替差損	12,057	—
その他	803	31
営業外費用合計	12,860	31
経常利益	188,403	290,427
特別利益		
受取弁済金	9,563	8,129
特別利益合計	9,563	8,129
税引前四半期純利益	197,967	298,557
法人税、住民税及び事業税	43,400	57,965
法人税等調整額	△6,104	18,721
法人税等合計	37,296	76,686
四半期純利益	160,671	221,870

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	197,967	298,557
減価償却費	42,460	44,888
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,616	15,947
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,995	5,112
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△8,461	1,600
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,000	△10,000
受取利息及び受取配当金	△13,809	△15,858
為替差損益 (△は益)	12,057	△2,613
投資有価証券償還損益 (△は益)	△6,243	△31,972
受取弁済金	△9,563	△8,129
売上債権の増減額 (△は増加)	8,079	△264,930
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,762	△12,960
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,446	152,634
その他	△22,721	14,538
小計	204,692	186,812
利息及び配当金の受取額	15,154	16,498
弁済金の受取額	9,563	8,129
法人税等の支払額	△57,698	△43,366
営業活動によるキャッシュ・フロー	171,712	168,074
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△112,740
定期預金の払戻による収入	800,000	—
有価証券の償還による収入	400,000	—
有形固定資産の取得による支出	△21,825	△26,852
無形固定資産の取得による支出	—	△15,010
投資有価証券の取得による支出	△313,627	△190,709
投資有価証券の償還による収入	199,248	110,800
その他	△3,192	△2,601
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,060,603	△237,114
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△144,179	—
配当金の支払額	△27,230	△25,701
財務活動によるキャッシュ・フロー	△171,409	△25,701
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,057	2,613
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,048,848	△92,126
現金及び現金同等物の期首残高	2,273,985	3,480,775
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,322,833	3,388,648



## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	スクリーンマスク	フォトマスク	計		
売上高					
外部顧客への売上高	716,401	189,292	905,693	63,255	968,948
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	716,401	189,292	905,693	63,255	968,948
セグメント利益	242,506	95,798	338,305	11,728	350,034

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「スクリーン印刷用資機材」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	338,305
「その他」の区分の利益	11,728
全社費用(注)	△173,077
四半期損益計算書の営業利益	176,956

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	スクリーンマスク	フォトマスク	計		
売上高					
外部顧客への売上高	900,776	191,091	1,091,868	75,076	1,166,944
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	900,776	191,091	1,091,868	75,076	1,166,944
セグメント利益	327,927	91,520	419,447	13,656	433,104

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「スクリーン印刷用資機材」等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	419,447
「その他」の区分の利益	13,656
全社費用（注）	△194,163
四半期損益計算書の営業利益	238,941

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。